

わたしとペットはこんな絆で結ばれています

特徴のある首輪で再会



大地震とその後の原発の事故で自宅は警戒区域に。飼い猫を探しに行くこともままならない中、日々だけが過ぎていきました。ある日、シェルターのホームページに公開された保護された猫の特徴に、見覚えのある首輪を見つけました。「もし迷子になっても必ず見つかってほしい」と以前から首輪に大きな鈴を2個つけていたのです。お蔭で4か月ぶりに再会することができました。もちろん今は迷子札もつけています。



二度と迷子にさせない



以前、飼い犬を迷子にさせてしまい、動物保護センターに保護されたのに、身元をしめすものを何もつけていなかったで連絡ができず、収容期限ぎりぎりの再会になってしまいました。二度とこんな気持ちを味わいたくなくて、今は鑑札と狂犬病予防注射済票はもちろん、迷子札とマイクロチップ、外出時には首輪と胴輪の両方にリードを着けています。ものが言えない動物がたとえ迷子になっても戻ってこれるように、身元表示するのは飼い主の愛情のあかしだと思っています。



住所をしゃべって戻ってきたインコ



真冬の寒い日、鳥かごを掃除していたときに隙間からセキセイインコを逃がしてしまいました。辺りを懸命に探しましたが見つかりませんでした。ところが、インコを拾った方がしゃべった住所と苗字を手掛かりに、飼い主を探し出してくれたのです。万一に備えて住所をしゃべれるように教えていたことと、拾った方のご好意で10日ぶりに無事再会することができました。



24年も一緒にいる大切な猫



我が家に猫が来たのは私が高校生の時でした。野良猫が生んだ子猫を残していなくなってしまったのです。ミルクをやり排泄させて懸命に世話をし、やんちゃで優しい猫に育ちました。それから24年、今でも帰宅すると必ず玄関まで迎えに来てくれたり、電話にニャーとおしゃべりしたりします。これまでいろいろありましたが、縁あって我が家の一員になってくれたことに感謝し、大切に世話をし、一日でも長生きさせたいです。



環境省

Ministry of the Environment

発行：環境省自然環境局総務課動物愛護管理室

所在地：〒100-8975 東京都千代田区霞が関 1-2-2

<http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/>

編集・デザイン：つしまみかこ

製作：株式会社オーエムシー

平成24年9月発行

地球のいのち、つないでいこう



生物多様性

〇お問い合わせやご相談は、お近くの都道府県、政令市、中核市等の担当窓口へ